

社 報



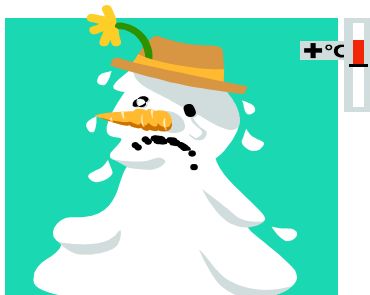
工夫や改善は尽きません

景気回復なるか

不景気になって久しいですが、最近の経済ニュースを見ますと、日本の経済は着実に回復しているようです。

建設業の景気回復は他の産業よりもかなり遅れますから、本格回復はまだ先かもしれません。

これと言った理由はありませんが、型枠業界の業況もいづれ良くなることは間違いのないと思われます。早く良くなればいいですね！



暖かくなり、雪ダルマも溶けとります

私達はこれまで、いろんな工夫や改善を行ってきました。社内においても現場においても、いろんな工夫をしてきました。

我社の大のお得意様である、清水建設では、協力業者が自社の改善事例を発表する大会があり、毎年秋には盛大に行なわれます。

我社も過去には何度も発表の機会をいただきました。しかし、ここ数年はいろんな事がありすぎたせいか発表から遠ざかっています。

型枠工事業界の中でも、高精度・高技術・高技能を自負する我社がそんなことではいけません。現場にも事務所にも倉庫にも、改善のネタはいくらでも転がっているはずです。

時には、もう今までに考える事は、すべてやり尽くしてきた、もうこれ以上良い方法などあり得ない、というようなことも聞かれますが、本当にそうなのでしょうか。

改善があり得ないという状態とは、どのような状態を言うのでしょうか。私にはとても現在の状態が、そういう状態であるとは思えません。

クレーム・ミス・不具合・ロス・ムダ、などがある限り改善は行なう必要が

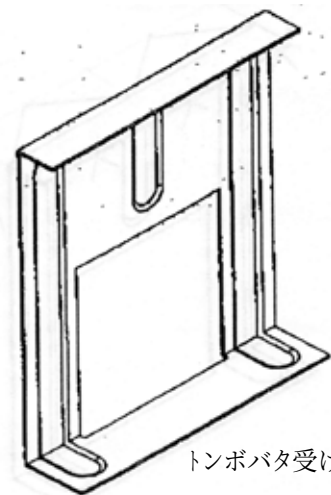
あります。

我社では現在取り組んでいる課題がいくつかあります。その中のひとつに、トンボバタ受け金物の開発があります。

この金物は、木製短バタをLGSで代替しようとするものです。これが、実現すると、短バタは購入しなくて済みますし、また使い終わった短バタをお金を支払って処分する必要もありません。倉庫で休眠状態にあるLGSを活用できると思います。

実現すれば、コストダウンに貢献できるはずです。

これに限らず、改善ネタはいっぱいあるはずです。身近なことから取り組みましょう。



トンボバタ受け

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中！

荷降ろし中に指つめ事故！

2月23日(木) 午後5時30分頃
喜馬病院の現場で、パネルを荷降ろし中、敷きバタ(リン木)に栈木を使用していたため、倒れ止めに合番者が手を添えていたところ、クレーン運転者が「降ろすぞ-」と声を掛けしたが、当人には聞こえず、荷を降ろした時に

栈木が倒れ、あわてて手を引いたが左手人差し指をはさまれ、そのまま引き抜いたために裂傷を受けた。

被災者:川崎 宏

年齢31歳 経験13年

雇用会社:(有)白石工務店

被災状況:不休災害

2006年 安全成績

■現場災害 H18.1.1-H18.3.2

休業災害 ----- 0

不休災害 ----- 1

物損災害 ----- 0

その他 ----- 0

合 計 ----- 0

■交通災害 H18.1.1-H18.3.2

人身災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

合 計 ----- 0